

仕 様 書

1. 件名

パブリック・クラウド環境（AWS: Amazon Web Service）の利用

2. 目的

調査研究上必要な開発・分析などの作業をクラウド環境上で行うに当たり、これを調達する。

文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)では、科学技術・学術政策立案に資する各種の調査研究業務を担っている。例えば、論文や特許、プレプリント、ファンディング課題など科学技術に関係するデータを対象に、それらの引用関係に基づく分析から科学技術・学術の動向予測などを行っている。一般的にこうした論文、特許等のデータは近年増加傾向にあり、また、引用関係はデータ数に対して対数的に増加する。したがって、こうしたデータの分析に要する計算リソースも増加する傾向にある。また、事前にデータ量・計算量の見積もり難いという性質を有する。

ここで、近年政府等でも採用されているパブリック・クラウド環境、クラウドサービスを用いることで必要な分析に際して、必要なだけの計算リソースを適時確保・利用することが可能になるため、NISTEPにおいても研究・分析用に Amazon Web Services（以下「AWS」という。）を利用している。以上より、令和 8 年度においても引き続きパブリック・クラウド環境の調達を行うものである。

3. 利用（契約）期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

4. 仕様

4-1. パブリック・クラウド環境の利用

- ・ AWS が提供するパブリック・クラウド環境を弊所が利用できること。クラウド資源の監視等の管理作業等は含まない。
- ・ 研究の継続性の観点から、弊所が契約締結時点において利用している AWS アカウントのうち、指定するものを変更、停止せずに、現行の ID、パスワードで利用できる環境を提供すること。
- ・ 対象となる ID 数は最大 10 件とする。
- ・ なお、現状利用中の EC2, S3, Amazon Translate, Bedrock 等と等価なサービスを有しており、利用中の EC2 インスタンス（現に稼働中のもののみならず、停止状態のものも含む）について契約開始日までに無償で移行を行う場合、AWS 以外のパブリック・クラウド環境も認める。

- ・ 利用中の EC2 インスタンスは 15 件程度存在し、Amazon Linux2023 を利用するものも複数含まれる。

4-2. パブリック・クラウドのサービス利用要件

- ・ クラウド・サービスの利用方法に関しては発注者が任意に決定できること。
- ・ AWS などクラウド・サービスの提供するサービスを本契約内において、発注者が自由に利用を開始・終了できること（必要に応じ、AWS Organizations および IAM Identity Center の信頼されたアクセス (Trusted Access) を有効化できること）。また、使用料に関しては発注者が随時モニタリングできること。
- ・ 提供を受けるクラウド・サービスの量は、1 ヶ月当たり 40 万円程度を想定している。ただし、使用料は想定であり、これを保証するものではない。

4-3. 業務開始、完了時の対応

- ・ 現行契約先と協力し円滑なアカウントの移行を実施すること。必要な情報について別途提示するので、速やかに引き継ぎ調整を実施すること。
- ・ 本契約終了時、次期契約先と協力し円滑な移行を実施すること。

5. 利用場所

東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階
文部科学省 科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室

6. 検査

当研究所担当者が内容を検査する。検査の結果不合格の場合、再度調整作業を実施すること。

7. その他

- ・ 応札業者は、応札時において、以下の認証等又はそれと同等のものを有すること。
また、認定書等の写し等、認証取得を証明する書類を提出すること。
 - ✓ 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001/ISMS)
 - ✓ クラウドサービスの情報セキュリティ管理策 (ISO27017)
- ・ 応札業者は、本調達案件と類似する同程度の規模以上の実績を 5 件以上有すること。
なお、そのうち 3 件は、政府・公共機関（大学を含む）における実績とすること。
- ・ 本仕様に疑義が生じた場合、当研究所と協議の上、その指示を受けるものとする。

以上